

授業計画(シラバス)					
科目名	構造・性能学		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	126時間(1年:前期50.4時間、後期39.6時間 2年:前期18時間 3年:前期18時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ガソリンエンジン総論	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング		
	2	エンジン本体	ガソリンエンジンの概要・構造・機能		
	3	潤滑装置	オイルの循環・構造・機能		
	4	冷却装置	冷却装置の概要・構造・機能		
	5	吸排気装置	ガソリンエンジンの吸排気装置の概要・構造・機能		
	6	燃料装置	ガソリンエンジンの燃料装置の概要・構造・機能		
	7	シャシ総論	原理と性能・構成・安全装置		
	8	動力伝達装置	クラッチ・ミッション等の動力伝達装置の概要・構造・機能		
	9	アクスル・サスペンション・ステアリング装置	スプリング・ショックアブソーバ・ステアリングの概要・構造・機能		
	10	ホイール・タイヤ・ブレーキ装置	ホイール・タイヤ・ディスクブレーキ・ドラムブレーキの概要・構造・機能		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	構造・性能学		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年従事、 自動車ディーラーにて自動車整備業務に8年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	126時間(1年:前期50.4時間、後期39.6時間 2年:前期18時間 3年:前期18時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ジーゼルエンジン総論	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング		
	2	エンジン本体	ジーゼルエンジンの概要・構造・機能		
	3	吸排気装置	ジーゼルエンジンの吸排気装置の概要・構造・機能		
	4	燃料装置	ジーゼルエンジンの燃料装置の概要・構造・機能		
	5	排出ガス浄化装置	排出ガス浄化装置の概要・構造・機能		
	6	シャシ総論	原理と性能・構成・安全装置		
	7	フレーム・ボディー	フレーム・ボディーの概要・構造・機能		
	8	安全装置	安全装置の概要・構造・機能		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	力学・数学			指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験					実務経験:
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	54時間 (1年:後期18時間 2年:後期18時間 3年:前期18時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	自動車整備士に必要な基礎的な計算が出来るようになる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	基礎知識	単位・単位の変換		
	2	基礎的な原理・法則	トルクと偶力、ばね定数		
	3	基礎的な原理・法則	圧力、単位と熱膨張		
	4	基礎的な原理・法則	平均速度、走行性能		
	5	基礎的な原理・法則	ギヤ機構とベルト伝達機構		
	6	基礎的な原理・法則	プラネタリ・ギヤ・ユニット		
	7	電気の計算	オームの法則		
	8	電気の計算	抵抗の求め方		
	9	電気の計算	電圧の求め方		
	10	電気の計算	電流の求め方		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電気・電子理論		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:後期36時間 2年:前期36時間 3年:前期18時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	電気・電子の概要	電気と磁気・電子		
	2	電気・電子の概要	電気と磁気・電流の三作用		
	3	電気・電子の概要	電気と磁気・電源と起電力		
	4	電流の種類	直流と交流		
	5	接続の種類	直列接続と並列接続		
	6	基礎知識	電圧降下		
	7	基礎知識	電力及び電力量		
	8	電子制御装置	センサー・アクチュエータ・ECU		
	9	電子制御装置	ガソリンエンジンの電子制御装置		
	10	電子制御装置	ディーゼルエンジンの電子制御装置		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	材料学		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	45時間 (1年:前期18時間 2年:前期18時間 3年:前期9時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)、基礎自動車工学				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	自動車の機械要素	ボルトとナット、ワッシャ		
	2	自動車の機械要素	スプリング		
	3	自動車の機械要素	ベアリング		
	4	自動車の機械要素	ギヤ、ベルト及びプーリ		
	5	自動車の機械要素	チェーン及びスプロケット		
	6	自動車の材料	鉄鋼		
	7	自動車の材料	非鉄金属		
	8	自動車の材料	焼結合金		
	9	自動車の材料	合成樹脂		
	10	自動車の材料	塗料		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	燃料・潤滑剤		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	27時間(1年:後期18時間 3年:前期9時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	燃料	ガソリン		
	2	燃料	軽油		
	3	燃料	LPG、CNG		
	4	燃料装置	ガソリンエンジンの燃料装置		
	5	燃料装置	ディーゼルエンジンの燃料装置		
	6	潤滑剤	潤滑の目的、種類		
	7	潤滑剤	エンジンオイル		
	8	潤滑剤	ギヤオイル		
	9	潤滑剤	シャシグリース		
	10	潤滑装置	潤滑装置の概要・構造・機能		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 3年:後期36時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン本体(ガソリン)	ガソリンエンジンの原理		
	2	エンジン本体(ガソリン)	エンジン本体(シリンダヘッド、ブロック、ピストン等)の整備		
	3	エンジン本体(ガソリン)	エンジン本体(コンロッド、クランクシャフト、ベアリング等)の整備		
	4	エンジン本体(ガソリン)	フライホイール リングギヤ		
	5	エンジン本体(ガソリン)	バルブ機構		
	6	エンジン本体(ジーゼル)	ジーゼルエンジンの原理		
	7	エンジン本体(ジーゼル)	エンジン本体(シリンダヘッド、ブロック、ピストン等)の整備		
	8	エンジン本体(ジーゼル)	エンジン本体(コンロッド、クランクシャフト、ベアリング等)の整備		
	9	エンジン本体(ジーゼル)	バルブ機構		
	10	モータ	モータの原理		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 3年:後期36時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	動力伝達装置	クラッチ ミッション、トランスファの整備		
	2	動力伝達装置	プロペラシャフト ドライブシャフト ユニバーサルジョイントの整備		
	3	動力伝達装置	ファイナルギヤ及びディファレンシャルの整備		
	4	動力伝達装置(二輪)	二輪自動車の駆動装置		
	5	アクスル及びサスペンション	アクスル サスペンションの整備		
	6	ステアリング装置	ステアリング装置の整備		
	7	ホイール及びタイヤ	タイヤ ホイールの整備		
	8	ホイール、アライメント	アライメントの整備		
	9	ブレーキ装置	フート、ブレーキ パーキング、ブレーキの整備		
	10	フレーム及びボデー	フレーム ボデーの修理		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 4年:前期36時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	三級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	バッテリー	バッテリーの構造、機能		
	2	始動装置	スタータの概要		
	3	充電装置	励磁式オルタネータの構造		
	4	充電装置(二輪自動車)	二輪のマグネット式オルタネータの構造		
	5	点火装置	点火の基礎		
	6	点火装置	イグニッションコイル スパークプラグの構造、機能		
	7	余熱装置	余熱装置の構造、機能		
	8	灯火装置	灯火装置の機能、機能		
	9	冷暖房装置	冷暖装置の機能、構造		
	10	計器 ホーン ワイパー	計器 ホーン ワイパーの機能、構造		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	自動車整備法規		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間(1年:後期27時間 2年:後期27時間 4年:36時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	法令教本				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	道路運送車両の保安基準	自動車の構造、装置(原動機関係)		
	2	道路運送車両の保安基準	自動車の構造、装置(シャシ関係)		
	3	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(公害防止関係)		
	4	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(車体関係)		
	5	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火関係、運転操作)		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	306時間 (1年:前期102.6時間、後期104.4時間 2年:前期99時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	エンジン単体(ガソリン、ジーゼル)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)分解、名称確認		
	2	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)計測、組付け		
	3	駆動用モータ	駆動用モータ単体の名称確認		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	306時間 (1年:前期102.6時間、後期104.4時間 2年:前期99時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	エンジン単体(ガソリン、ジーゼル)				
授業外学習 の方法	レポート内容の復習				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	特殊エンジン	ロータリーエンジン、水平対向エンジン単体の分解、名称確認		
	2	特殊エンジン	ロータリーエンジン、水平対向エンジン単体の計測、組付け		
	3	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)分解、名称確認		
	4	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)計測、組付け		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	306時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両(四輪、二輪)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	動力伝達装置	クラッチ、ミッションの脱着、分解、組立		
	2	アクスル及びサスペンション	前後サスペンション、アクスルの脱着、分解、組立		
	3	ステアリング装置	ステアリング装置の脱着、分解、組立		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	306時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両(四輪、二輪)				
授業外学習 の方法	レポート内容の復習				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ホール、アライメント	ホール、アライメントの測定、調整		
	2	ブレーキ装置	ディスクブレーキ装置の脱着、分解、組立		
	3	二輪自動車の駆動装置	二輪自動車の駆動装置の脱着、分解、組立		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	324時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間、後期18時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両 電装品単品				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	サーキットテスタ 基礎知識	サーキットテスタでの測定方法 低圧電気に関する基礎知識		
	2	バッテリー	バッテリーの点検、脱着		
	3	点火装置	ディストリビュータの脱着、分解、組立、点検		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○		実技:
時間数	324時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間、後期18時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両 電装品単品				
授業外学習 の方法	レポート内容の復習				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	始動装置	スターターモータの脱着、分解、組立、点検		
	2	充電装置	オルタネータの脱着、分解、組立、点検		
	3	予熱装置	グロープラグの脱着、分解、組立、点検		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合学習		指導担当者名	青木将大、矢部航平	
実務経験				実務経験:	
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・Excelの基本操作が出来るようになる ・簡単な関数が組めるようになる ・グラフが作成できるようになる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Excel基礎学習、ノートパソコン				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	Excel基礎学習	起動 画面構成 入力設定		
	2	Excel基礎学習	セルの選択 データ入力		
	3	Excel基礎学習	セルの書式設定		
	4	Excel基礎学習	行と列の編集		
	5	Excel基礎学習	行と列の編集		
	6	Excel基礎学習	ブックの保存 終了		
	7	Excel基礎学習	関数とグラフ		
	8	Excel基礎学習	関数とグラフ		
	9	Excel基礎学習	データ抽出		
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合学習		指導担当者名	松崎翔太 渡邊祥市	
実務経験				実務経験:	
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	3級自動車整備士過去問題プリント ビジネスマナーテキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	社会人になるとは	心構え、求められる資質、職場での基本マナー		
	2	基本動作、言葉遣い	姿勢、歩き方、表情、発声練習、敬語の基本、話し方、聞き方		
	3	面接の目的	面接について考える		
	4	自己分析、自己PR、志望動機作成	自己分析をし自己PR、志望動機の作成		
	5	履歴書作成	履歴書の書き方と作成		
	6	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習、まとめ		
	7	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習、まとめ		
	8	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習、まとめ		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	構造、性能学		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	126時間 (1年:前期50.4時間、後期39.6時間 2年:前期18時間 3年:前期18時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン総論	ガソリンエンジンの燃焼方式、バルブタイミング		
	2	ディーゼルエンジン総論	ディーゼルエンジンの燃焼方式、バルブタイミング		
	3	エンジンの性能	熱効率 諸損失		
	4	エンジンの性能	体積効率と充填効率 空気過剰率		
	5	ガソリンエンジンの燃焼	ガソリンエンジンの燃焼行程 ノッキング		
	6	ディーゼルエンジンの燃焼	ディーゼルエンジンの燃焼行程 ディーゼルノック		
	7	排気ガス	排気ガスの発生過程 大気汚染物質発生の相関関係		
	8	排気ガス	排気ガス浄化の対応策		
	9	シャシ総論	走行抵抗と駆動力		
	10	シャシ総論	駆動力と走行性能		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	力学、数学		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験				実務経験:	
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	54時間 (1年:後期18時間 2年:後期18時間 3年:前期18時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	基礎的な原理、法則	荷重(テコの原理)、軸重、トルク、軸トルクの計算の計算		
	2	基礎的な原理、法則	力のモーメント 荷重割合		
	3	自動車の諸元	エンジン圧縮比		
	4	自動車の諸元	エンジン回転速度と平均ピストンスピード		
	5	自動車の諸元	変速比		
	6	自動車の諸元	自動車に働く抵抗、駆動力		
	7	自動車の諸元	登坂能力		
	8	自動車の諸元	燃料消費率の計算		
	9	電気の計算	電圧の求め方		
	10	電気の計算	電力 電力量の求め方		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電気、電子理論		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:後期36時間 2年:前期36時間 3年:前期18時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	半導体の基礎	概要		
	2	半導体の基礎	半導体の種類と特質		
	3	半導体の基礎	ダイオードの種類、特質		
	4	半導体の基礎	トランジスタの種類		
	5	半導体の基礎	トランジスタの回路、増幅作用		
	6	半導体の基礎	論理回路の種類、特質		
	7	半導体の基礎	サーミスタの回路、圧電素子		
	8	半導体の基礎	論理回路の種類		
	9	半導体の基礎	論理回路の特質		
	10	半導体の基礎	サーミスタ、圧電素子		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	材料学		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	45時間 (1年:前期18時間 2年:前期18時間 3年:前期9時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合) 基礎自動車工学				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	燃料	ガソリンの基材 性質		
	2	燃料	軽油の性質		
	3	燃料	LPGの性状		
	4	燃料	CNGの性状		
	5	潤滑剤	摩擦力と潤滑		
	6	潤滑剤	潤滑状態		
	7	潤滑剤	エンジンオイル ギヤオイル		
	8	潤滑剤	グリース シリコンオイル		
	9	潤滑剤	ATF CVTF		
	10	潤滑剤	PSF		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	図面学		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験					実務経験:
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	27時間(1年:前期18時間 3年:前期9時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	製図 図面 概要	製図の概要		
	2	製図に用いる線	継続様式による種類 用法		
	3	図形の表し方	主投影図 補助投影図 局部投影図 対称図形の省略		
	4	寸法記入方法と寸法の制度	寸法記入の原則		
	5	電気製図	電気用図記号		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 3年:後期36時間)			週時間数	7.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン本体 補器類	エンジン及び補器類の構造、機能		
	2	ハイブリッド自動車及び電気自動車	電気自動車等の仕組みと種類		
	3	ハイブリッド自動車及び電気自動車	駆動モータ及びジェネレータ バッテリ コンバータ及びインバータ		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 3年:後期36時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	動力伝達装置	クラッチ トランスミッション		
	2	動力伝達装置	差動制限型ディファレンシャル インタアクスルディファレンシャル		
	3	動力伝達装置(二輪自動車)	二輪自動車の駆動装置		
	4	アクスル及びサスペンション	サスペンション エアスプリング型サスペンション		
	5	ステアリング装置	旋回性能 パワーステアリング		
	6	ホイール及びタイヤ ホイールアライメント	ホイール タイヤ タイヤの異常摩耗 偏摩耗 アライメントの構造、機能		
	7	ブレーキ装置	ブレーキの性能 方式 補助ブレーキ		
	8	ブレーキ装置(二輪自動車)	二輪自動車のブレーキ		
	9	フレーム及びボデー	トラック、バスのフレーム		
	10	フレーム及びボデー(二輪自動車)	二輪自動車のフレーム		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 4年:前期36時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	バッテリー	バッテリーの概要 機能		
	2	電気装置	多重通信の構造、機能		
	3	電子制御装置	外部診断機の機能 使用方法 OBD規制の概要		
	4	始動装置	スタータの構造、機能、特性		
	5	充電装置	オルタネータの構造、機能		
	6	点火装置	イグニッションコイルとスパークプラグの構造、機能		
	7	予熱装置	インテークエアヒータ グロープラグの構造、機能		
	8	計器 警報装置	計器の構造、機能 警報装置の構造、機能		
	9	冷暖房装置	冷暖房装置の構造、機能		
	10	安全装置	安全装置の構造、機能		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	故障原因探求		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	54時間(1年:前期36時間 4年:前期18時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ガソリンエンジン故障原因探求	概要、効率的な診断、診断の基本(問診、現象確認、原因の推定、再発の防止)		
	2	ガソリンエンジン故障原因探求	故障診断の進め方		
	3	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン始動不能)		
	4	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)		
	5	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)		
	6	ジーゼルエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン始動不能)		
	7	ジーゼルエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)		
	8	ジーゼルエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)		
	9	ハイブリッド自動車及び電気自動車故障原因探求	不具合現象とその原因探求(始動不能)		
	10	ハイブリッド自動車及び電気自動車故障原因探求	不具合現象とその原因探求(不調)		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電子制御装置		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	54時間			週時間数	10.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	二級自動車整備士(総合)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	電子制御装置	センサ、アクチュエータ、ECUの構造、機能		
	2	電子制御装置	OBD規制の概要		
	3	先進安全技術	カメラ(単眼又は複眼)の構造、機能		
	4	先進安全技術	ミリ波レーダの構造、機能		
	5	先進安全技術	赤外線レーザの構造、機能		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	自動車整備法規		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間(1年:後期27時間 2年:後期27時間 4年:36時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	法令教本				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 後期	1	道路運送車両法	自動車の種類		
	2	道路運送車両法	登録制度 検査制度		
	3	道路運送車両法	点検整備制度 認証制度		
	4	道路運送車両法	保安基準 指定制度		
	5	道路運送車両法	その他		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	検査学		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	36時間(1年:後期27時間 4年:後期9時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	法令教本				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	保安基準適合性確保の点検	点検の目的		
	2	保安基準適合性確保の点検	点検作業の流れ		
	3	保安基準適合性確保の点検	各部の点検(エンジン)		
	4	保安基準適合性確保の点検	各部の点検(シャシ)		
	5	保安基準適合性確保の点検	検査機器		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	306時間 (1年:前期102.6時間、後期104.4時間 2年:前期99時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	エンジン単体 実習車両				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン	エンジン本体の脱着、タイミングベルト、チェーンの脱着		
	2	過給機	ターボチャージャ スーパーチャージャの脱着、分解、組立		
	3	駆動用モータ	駆動用モータの分解、組立		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シヤシ 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	306時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両(四輪、二輪)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	動力伝達装置	ATの分解、組立		
	2	ブレーキ装置	ブレーキ単体の分解、組立		
	3	乗用車のボデー	ボデーの構造		
	4	二輪自動車	二輪自動車の駆動装置 ブレーキ フレームの脱着		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	324時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間、後期18時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	始動装置	スターターモータの脱着、点検、整備		
	2	充電装置	オルタネータの脱着、点検、整備		
	3	点火装置	イグニッションコイルの脱着、点検、整備		
	4	シャシ電装	基本的な回路図の読み方、現車を使つての確認		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装 点検、分解、組立、調整、検査		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	324時間 (1年:前期102.6時間、後期95.4時間 2年:前期108時間、後期18時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両				
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する				
学期		項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	予熱装置	インテークエアヒータ グロープラグの脱着、点検、整備		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		故障原因探求(実習)		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市
実務経験		自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験： 有
開講時期		後期		対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法		講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数		420時間(2年：後期108時間 3年：前期68.4時間、後期48.6時間 4年：前期102.6時間、後期92.4時間)			週時間数 34.2時間
学習到達目標		・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す			
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		実習車両			
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項 目		内容、準備資料等	
授 業 計 画 後 期	1	外部診断機		スキャンツールを使用した故障原因探求	
	2	エンジン故障原因探求		エンジン故障時の基本点検、始動不能、不調の故障診断	
	3	シャシ故障原因探求		変速ショックが大きい車の故障診断	
	4	先進安全技術の故障原因探求		故障診断の手順、方法	
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電子制御装置(実習)		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	108時間			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ハイブリッド自動車及び電気自動車	コンバータ インバータの点検、整備		
	2	ハイブリッド自動車及び電気自動車	駆動用バッテリー 駆動用モータ ジェネレータの点検整備		
	3	先進安全技術	電子制御装置整備の作業方法		
	4	先進安全技術	電子制御装置整備の点検、整備、調整		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		検査作業		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市
実務経験		自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験： 有
開講時期		通年		対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法		講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数		72時間(2年：前期34.2時間、後期19.8時間 3年：後期18時間)			週時間数 34.2時間
学習到達目標		・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す			
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		実習車両			
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項 目		内容、準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	検査用機器		ブレーキテスト、ヘッドライトテスト、サイドスリップテストの用途 構造 機能の確認	
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		検査作業		指導担当者名	山本巧 矢部航平
実務経験		自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事			実務経験： 有
開講時期		通年		対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法		講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数		72時間(2年：前期34.2時間、後期19.8時間 3年：後期18時間)			週時間数 34.2時間
学習到達目標		・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す			
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		実習車両			
授業外学習の方法		レポートの内容を復習する			
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	継続検査作業	受け入れ検査、中間検査、完成検査、まとめ		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合学習		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験					実務経験:
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	3級自動車整備士過去問、3級自動車ガソリンエンジン、3級自動車ジーゼルエンジン、3級自動車シャシ				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自動車のセキュリティ	セキュリティの歴史		
	2	自動車のセキュリティ	セキュリティの種類		
	3	自動車のセキュリティ	セキュリティの重要性		
	4	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習		
	5	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習		
	6	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習		
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合学習		指導担当者名	松崎翔太、渡邊祥市	
実務経験					実務経験:
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	2級自動車整備士過去問題プリント				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期		項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題		
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題		
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学、法令分野別問題		
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		構造、性能学		指導担当者名	山本巧
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験：有
開講時期		前期	対象学科学年		1級自動車工学科3年
授業方法		講義：○	演習：	実習：	実技：
時間数		126時間 (1年：前期50.4時間、後期39.6時間 2年：前期18時間 3年：前期18時間)			週時間数 1.8時間
学習到達目標		・自動車の新技術 新機構を理解する ・車両安定制御やハイブリッド車の制御から自動運転や電気自動車などの基礎を習得する			
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		自動車新技術			
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ハイブリッド車	概要		
	2	ハイブリッド車	構造、機能、ハイブリッド車の制御系システム		
	3	圧縮天然ガス自動車	CNG自動車 燃料系 制御系システム		
	4	圧縮天然ガス自動車	CNG自動車 燃料系 制御系システム		
	5	筒内噴射式ガソリンエンジン	概要 燃料装置 高圧フューエルポンプ 電子制御スロットル装置 排ガス対策		
	6	筒内噴射式ガソリンエンジン	概要 燃料装置 高圧フューエルポンプ 電子制御スロットル装置 排ガス対策		
	7	無段変速機	構成部品の構造、機能		
	8	無段変速機	構成部品の制御系システム		
	9	車両安定制御装置	概要 ブレーキアシスト VSCS		
	10	車両安定制御装置	概要 ブレーキアシスト VSCS		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		力学、数学		指導担当者名	山本巧
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験： 有
開講時期		前期	対象学科学年		1級自動車工学科3年
授業方法		講義：○	演習：	実習：	実技：
時間数		54時間 (1年：後期18時間 2年：後期18時間 3年：前期18時間)			週時間数 1.8時間
学習到達目標		・電気 電子回路の仕組みを理解する ・自動車の振動 騒音のメカニズムを理解する			
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		エンジン電子制御装置 シヤシ電子制御装置 総合診断、環境保全、安全管理			
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	電気、電子回路の測定技術	分解能(確度)		
	2	電気、電子回路の測定技術	表示の誤差		
	3	電気、電子回路の測定技術	分圧回路		
	4	電気、電子回路の測定技術	分流回路		
	5	シヤシ電子制御装置 振動、騒音	音圧レベル		
	6	シヤシ電子制御装置 振動、騒音	振動周波数		
	7	シヤシ電子制御装置 振動、騒音	アンバランス		
	8	シヤシ電子制御装置 振動、騒音	アンバランス		
	9	安全管理	危険物の保管指定数量		
	10	安全管理	危険物の保管指定数量		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電気、電子理論			指導担当者名	山本巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事				実務経験： 有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：	
時間数	90時間 (1年：後期36時間 2年：前期36時間 3年：前期18時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・電気回路の基礎を理解する ・テスターを用いて正確に回路の測定ができる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	エンジン電子制御 プリント				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	電気回路	概要 構成		
	2	電気回路	概要 構成		
	3	電気回路	電子回路の基本(電源 ヒューズ スイッチ 負荷 配線)		
	4	電気回路	電子回路の基本(電源 ヒューズ スイッチ 負荷 配線)		
	5	電気回路	直列接続と並列接続		
	6	電気回路	直列接続と並列接続		
	7	電気回路	電気回路の故障 断線と短絡の現象		
	8	電気回路	電気回路の故障 断線と短絡の現象		
	9	電気回路	電気回路の測定要領(プローブ 測定箇所) 電気回路の測定		
	10	電気回路	電気回路の測定要領(プローブ 測定箇所) 電気回路の測定		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	材料学		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	45時間 (1年:前期18時間 2年:前期18時間 3年:前期9時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・材料の基本を理解する ・材料の特性を生かした有効利用方について理解する ・新素材について学び これからの自動車についても柔軟に対応できるようになる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断、環境保全、安全管理				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	資源の有効利用	各種材料の特性		
	2	資源の有効利用	各種材料のリサイクル		
	3	材料力学	材料力学における基本理論		
	4	材料力学	材料力学における基本理論		
	5	新素材	無機材料の基礎		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)								
科目名		燃料、潤滑剤		指導担当者名	山本巧			
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事				実務経験:	有	
開講時期		前期		対象学科学年		1級自動車工学科3年		
授業方法		講義：○		演習：		実習：		実技：
時間数		27時間(1年:後期18時間 3年:前期9時間)				週時間数	1.8時間	
学習到達目標		・石油系 天然ガスなど燃料の特性を理解する ・潤滑剤の基礎とエネルギーについて理解する						
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する						
使用教材		総合診断、環境保全、安全管理						
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと						
学期	ターム	項 目		内容、準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	ガソリン 軽油		燃料と潤滑に関する基礎理論				
	2	LPガス		燃料と潤滑に関する基礎理論				
	3	エンジンオイル ギヤオイル		潤滑剤の特性と熱機関への影響				
	4	防火の知識		危険物の保管指定数量				
	5	防災の知識		ハインリッヒの法則				
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない								

授業計画(シラバス)					
科目名	図面学		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	27時間(1年:前期18時間 3年:前期9時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・図面の基礎について理解する ・図面より正確な寸法や 数値 データを読み取り理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	製図				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	CAD製図	概要、寸法CAD製図の規格		
	2	CAD製図	概要、寸法CAD製図の規格		
	3	CAD製図	概要、寸法CAD製図の規格		
	4	CAD製図	概要、寸法CAD製図の規格		
	5	CAD製図	概要、寸法CAD製図の規格		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 3年:後期36時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車の新技術 新機構のエンジン整備方法を理解する ・ハイブリッドエンジン搭載車の点検手順を理解する ・CNG自動車と石油系燃料車の違いを理解し注意点を理解する ・CNG自動車 筒内噴射 コモンレール車などの高圧燃料系の特性を理解し 整備方法を理解する ・駆動モータの整備方法を理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	自動車新技術				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	エンジン点検、整備	ハイブリッド、システム点検、整備の注意点		
	2	エンジン点検、整備	CNG自動車点検、整備		
	3	エンジン点検、整備	筒内噴射式ガソリンエンジン 点検整備の要点高圧燃料系統 インジェクタ		
	4	エンジン点検、整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検、整備 システム上の全般的な注意事項		
	5	駆動モータ点検、整備	トランスアクスルの構造、整備		
	6	駆動モータ点検、整備	モータの構造、点検、整備		
	7	駆動モータ点検、整備	制御装置の点検、整備		
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 3年:後期36時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・新技術 新機構のシャシ整備方法を理解する ・CVT特有の点検整備の仕方を理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	自動車新技術				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	シャシ点検、整備	無段変速機(CVT)点検、整備 CVTフルード レベル セレクトレバー インヒビタスイッチ		
	2	シャシ点検、整備	無段変速機(CVT)点検、整備 CVTフルード レベル セレクトレバー インヒビタスイッチ		
	3	シャシ点検、整備	車両安定制御装置 VSCS装着車の注意事項 点検整備のポイント		
	4	シャシ点検、整備	車両安定制御装置 VSCS装着車の注意事項 点検整備のポイント		
	5	シャシ点検、整備	SRSエアバッグ及びプリテンショナー、シート、ベルト 廃棄要領		
	6	シャシ点検、整備	SRSエアバッグ及びプリテンショナー、シート、ベルト 廃棄要領		
	7	シャシ点検、整備	SRSエアバッグ及びプリテンショナー、シート、ベルト 廃棄要領		
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	自動車概論		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	36時間			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・構造力学の基礎を理解する ・計算ができる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	基礎自動車工学				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	基礎知識	構造力学に必要な算術計算		
	2	基礎知識	構造力学に必要な算術計算		
	3	基礎知識	力の基礎		
	4	工学基礎	力のつり合い		
	5	工学基礎	断面に関する数量		
	6	工学基礎	反力		
	7	工学基礎	部材に生じる力		
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	サービス・マネジメント		指導担当者名	根本 勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	72時間(前期27時間、後期45時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・コミュニケーション力を身につける ・ツールの活用方法を学び より有効的なプレゼンテーション能力を身につける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	ビジネスマナー				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	カスタマ・サービス	口述試験対策 問診21項目		
	2	カスタマ・サービス	口述試験対策 整備説明		
	3	カスタマ・サービス	口述試験対策 ロールプレイング		
	4	論理的思考の基礎	思考の大切さ データ、情報		
	5	論理的思考の基礎	情報収集技術 表現の訓練		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点					

授業計画(シラバス)

科目名	サービス・マネジメント		指導担当者名	根本 勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	72時間(前期27時間、後期45時間)			週時間数	5.4時間
学習到達目標	・コミュニケーション力を身につける ・ツールの活用方法を学び より有効的なプレゼンテーション能力を身につける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	ビジネスマナー				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	プレゼンテーションツールの技術	ツールの種類 効果 ポイント		
	2	プレゼンテーションツールの技術	ツール作成の基礎知識		
	3	プレゼンテーションツールの技術	プレゼンテーションの留意点		
	4	ビジネスコミュニケーションの技術	必要性 種類		
	5	ビジネスコミュニケーションの技術	報告 連絡 相談		
	6	コミュニケーションの基礎	良好な状態 集団の意思決定		
	7	コミュニケーションの基礎	価値観の尊重		
	8	意見を出すための基礎	意見 内容 留意点 意見形成		
	9	カスタマ・サービス	口述試験対策 ロールプレイング		
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ(実習)		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	126時間(前期68.4時間、後期57.6時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車の新技術 新機構のエンジン整備方法を理解する ・ハイブリッドエンジン搭載車の点検手順を理解する ・CNG自動車と石油系燃料車の違いを理解し注意点を理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	各種エンジン単体 自動車新技術				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン整備作業	ハイブリッド(アトキンソンサイクル)分解、組立		
	2	エンジン整備作業	直接噴射式エンジン分解、組立		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	エンジン又はモータ(実習)		指導担当者名	根本 勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	126時間(前期68.4時間、後期57.6時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車の新技術 新機構のエンジン整備方法を理解する ・ハイブリッドエンジン搭載車の点検手順を理解する ・CNG自動車と石油系燃料車の違いを理解し注意点を理解する				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	各種エンジン単体 自動車新技術				
授業外学習 の方法	該当範囲の予習、復習				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	駆動モータ整備作業	駆動モータ分解、組立		
	2	駆動モータ整備作業	コンバータ、インバータ分解、組立		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ(実習)		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	126時間(前期68.4時間、後期57.6時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・新技術 新機構のシャシ整備方法を理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	CVT EPS ワゴンR 自動車新技術				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	シャシ整備作業	EPS分解、組立、点検整備		
	2	シャシ整備作業	電子制御式AT分解、組立、点検整備		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	シャシ(実習)		指導担当者名	根本 勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	126時間(前期68.4時間、後期57.6時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・新技術 新機構のシャシ整備方法を理解する				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	CVT EPS ワゴンR 自動車新技術				
授業外学習 の方法	レポート内容の復習				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	シャシ整備作業	CVT(無段変速機)分解、組立、点検整備		
	2	シャシ整備作業	ブレーキ装置(ABS)脱着、点検整備 SRSエアバッグ 脱着、点検整備		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装(実習)		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	117時間(前期68.4時間、後期48.6時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車の新技術 新機構の電装整備方法を理解する ・各種ECUの制御内容について理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	オーラ				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン電子制御高度故障診断技術	各センサの脱着 点検		
	2	エンジン電子制御高度故障診断技術	各アクチュエータの脱着 点検		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		電装(実習)		指導担当者名	山本巧
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験：有
開講時期		通期		対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法		講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数		117時間(前期68.4時間、後期48.6時間)			週時間数34.2時間
学習到達目標		・自動車の新技術 新機構の電装整備方法を理解する ・各種ECUの制御内容について理解する			
評価方法 評価基準		・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		オーラ			
授業外学習 の方法		レポート内容の復習			
学期	ターム	項 目		内容、準備資料等	
授 業 計 画 後 期	1	シャシ電子制御高度故障診断技術		各センサの脱着 点検	
	2	シャシ電子制御高度故障診断技術		各アクチュエータの脱着 点検	
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)									
科目名		故障原因探求(実習)		指導担当者名	山本巧				
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事				実務経験:	有		
開講時期		通年		対象学科学年		1級自動車工学科3年			
授業方法		講義:		演習:		実習: ○		実技:	
時間数		420時間(2年:後期108時間 3年:前期68.4時間、後期48.6時間 4年:前期102.6時間、後期92.4時間)				週時間数		34.2時間	
学習到達目標		・故障診断技術について理解する ・各種センサ アクチュエーターの正常 異常の状態を把握する							
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する							
使用教材		エクストレイル エンジン電子制御							
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと							
学期	ターム	項 目			内容、準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	高度故障診断技術			サーキットテスタ オシロスコープを使用しての故障診断				
	2	高度故障診断技術			外部診断機 振動、騒音分析器を使用しての故障診断				
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない									

授業計画(シラバス)					
科目名		故障原因探求(実習)		指導担当者名	根本 勝
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験：有
開講時期		通年	対象学科学年		1級自動車工学科3年
授業方法		講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数		420時間(2年：後期108時間 3年：前期68.4時間、後期48.6時間 4年：前期102.6時間、後期92.4時間)			週時間数 34.2時間
学習到達目標		・故障診断技術について理解する ・各種センサ アクチュエーターの正常 異常の状態を把握する			
評価方法 評価基準		・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		エクストレイル エンジン電子制御			
授業外学習 の方法		レポート内容の復習			
学期	ターム	項 目		内容、準備資料等	
授 業 計 画 後 期	1	高度故障診断技術		エンジン警告灯点灯時の故障診断 論理信号センサ リニア信号センサ 周波数信号センサ	
	2	高度故障診断技術		エンジン警告灯無点灯時の故障診断	
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)									
科目名		検査作業		指導担当者名	山本巧				
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事				実務経験:	有		
開講時期		後期		対象学科学年		1級自動車工学科3年			
授業方法		講義:		演習:		実習: ○		実技:	
時間数		72時間(2年:前期34.2時間、後期19.8時間 3年:後期18時間)				週時間数		18時間	
学習到達目標		・自動車の検査方法を理解する ・各テスターの使い方 検査の流れを覚える							
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する							
使用教材		インプレッサ エンジン電子制御							
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと							
学期	ターム	項 目			内容、準備資料等				
授業計画 後期	1	自動車点検整備			検査作業の進め方 記録簿の確認				
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない									

授業計画(シラバス)					
科目名	サービス・マネジメント(実習)		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	36時間(前期34.2時間、後期1.8時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・顧客 工場の管理と経営の基礎を理解する ・整備前の問診からの確かな車両の状態を把握できる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	点検記録簿 リーフ				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	整備業務の実務	受け取り 納車 安全管理 問診 整備説明		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	サービス・マネジメント(実習)		指導担当者名	根本 勝	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	36時間(前期34.2時間、後期1.8時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・顧客 工場の管理と経営の基礎を理解する ・整備前の問診からの確かな車両の状態を把握できる				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	点検記録簿 リーフ				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	整備業務の実務	受け取り 納車 安全管理 問診 整備説明		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合学習		指導担当者名	山本巧	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数	12.6時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断 口述対策テキスト				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し		
	2	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し		
	3	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し		
	4	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し		
	5	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	6	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	7	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	8	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		総合学習		指導担当者名	山本巧
実務経験		自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験：有
開講時期		通期	対象学科学年		1級自動車工学科3年
授業方法		講義：	演習：○	実習：	実技：
時間数		450時間 (1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間 3年：前期93.6時間、後期50.4時間 4年：前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数 12.6時間
学習到達目標		・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す			
評価方法 評価基準		期末試験を実施 授業への取り組み姿勢 各種テスト レポートも考慮する			
使用教材		総合診断 口述テキスト 過去問題 ビジネスマナーテキスト			
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	面接試験	面接試験の受け答えのマナー		
	2	面接試験	スピーチの練習		
	3	企業訪問	企業訪問の準備		
	4	模擬面接	模擬面接試験		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	電装		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間 (1年:前期36時間 2年:前期18時間 4年:前期36時間)			週時間数	3.6時間
学習到達目標	センサ、アクチュエータ回路の点検方法を習得する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	エンジン電子制御装置 公論社(練習問題)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯点灯時の点検、整備方法		
	2	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯点灯時の点検、整備方法		
	3	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯点灯時の点検、整備方法		
	4	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯点灯時の点検、整備方法		
	5	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯点灯時の点検、整備方法		
	6	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法		
	7	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法		
	8	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法		
	9	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法		
	10	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	故障原因探究		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	54時間(1年:前期36時間 4年:前期18時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	故障診断の方法を習得する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	エンジン電子制御装置 シヤシ電子制御 公論社(練習問題)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン電子制御装置高度故障診断技術	故障診断の概要故障診断		
	2	シヤシ電子制御装置AT高度故障診断技術	故障探求の進め方		
	3	シヤシ電子制御装置AT高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	4	電動パワーステアリング高度故障診断技術	故障探求の進め方		
	5	電動パワーステアリング高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	6	シヤシ電子制御装置ABS高度故障診断技術	ダイアグノーシスを持つ場合の故障診断		
	7	ABS高度故障診断技術	故障探求の進め方		
	8	ABS高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	9	オートエアコン高度故障診断技術	故障探求の進め方		
	10	オートエアコン高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合診断		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	18時間			週時間数	1.8時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断、環境保全、安全管理 公論社(練習問題)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	2	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	3	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	4	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	5	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	6	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	7	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	8	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	9	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	10	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	環境保全			指導担当者名	根本勝
実務経験					実務経験:
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	18時間			週時間数	1.8時間
学習到達目標	自動車業界での環境保全の有り方について 知識を習得する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断、環境保全、安全管理 公論社(練習問題)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	地球規模の環境保全とその必要性	環境保全の現状、必要性		
	2	地球規模の環境保全とその必要性	環境保全の現状、必要性		
	3	地球規模の環境保全とその必要性	地球温暖化と対策		
	4	地球規模の環境保全とその必要性	地球温暖化と対策		
	5	地球規模の環境保全とその必要性	環境破壊と対策		
	6	産業廃棄物処理の影響と対応	産業廃棄物 使用済自動車		
	7	産業廃棄物処理の影響と対応	産業廃棄物 エアバック		
	8	産業廃棄物処理の影響と対応	産業廃棄物 カーエアコン用特定フロン 代替フロン		
	9	産業廃棄物処理の影響と対応	産業廃棄物 バッテリー タイヤ 冷却水		
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	安全管理	指導担当者名	根本勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義: ○	演習:	実習:
時間数	18時間		週時間数 1.8時間
学習到達目標	整備作業時の安全管理を習得する		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	エンジン電子制御装置 シャン電子制御 公論社(練習問題)		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	火災のあらまし	災害発生の仕組み 不安全行動と不安全状態
	2	火災のあらまし	災害発生の仕組み 不安全行動と不安全状態
	3	火災のあらまし	災害発生の仕組み 不安全行動と不安全状態
	4	火災のあらまし	災害発生の仕組み 不安全行動と不安全状態
	5	火災のあらまし	災害発生の仕組み 不安全行動と不安全状態
	6	災害防止	安全管理の作業能率 安全のルール 整理整頓
	7	災害防止	安全管理の作業能率 安全のルール 整理整頓
	8	災害防止	安全管理の作業能率 安全のルール 整理整頓
	9	災害防止	安全管理の作業能率 安全のルール 整理整頓
	10	災害防止	安全管理の作業能率 安全のルール 整理整頓
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)					
科目名	自動車整備法規		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間(1年:後期27時間 2年:後期27時間 4年:36時間)			週時間数	7.2時間
学習到達目標	道路運送車両法を理解し 又保安基準と検査基準を学習することで自動車の法規についての知識を深める				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	法令教本 公論社(練習問題)				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	道路運送車両法	総則 自動車の登録等		
	2	道路運送車両法	総則 自動車の登録等		
	3	道路運送車両法	総則 自動車の登録等		
	4	道路運送車両の保安基準	総則 自動車の保安基準		
	5	道路運送車両の保安基準	総則 自動車の保安基準		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	検査学		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	36時間(1年:後期27時間 4年:後期9時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・検査学の基礎を理解する				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	法令教本				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	自動車の保安基準	自動車の構造		
	2	自動車の保安基準	自動車の保安基準項目		
	3	自動車の保安基準	自動車の保安基準項目		
	4	車検検査	車検検査項目		
	5	車検検査	車検制度		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	体験実習(インターンシップ)		指導担当者名	根本勝	
実務経験					実務経験:
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	153時間(前期36時間 後期117時間)			週時間数	36時間
学習到達目標	企業での実習を通じて作業要領や仕事の流れを習得する 又 社会人としてのルールやマナーを身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	法令教材				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授業計画 前期	1	企業研修	点検整備 接客応対		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	体験実習(インターンシップ)		指導担当者名	根本勝	
実務経験					実務経験:
開講時期	通期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	153時間(前期36時間 後期117時間)			週時間数	36時間
学習到達目標	企業での実習を通じて作業要領や仕事の流れを習得する 又 社会人としてのルールやマナーを身に付ける				
評価方法 評価基準	インターンシップへの取組み姿勢 毎日作成する実習レポートも考慮する				
使用教材	法令教材				
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み保安基準を確認する				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	企業研修	点検整備 接客応対 故障診断		
	2	企業研修	点検整備 接客応対 故障診断		
	3	企業研修	点検整備 接客応対 故障診断		
	4	企業研修	点検整備 接客応対 故障診断		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	自動車の点検整備		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	195時間(前期102.6時間 後期92.4時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断 口述対策テキスト				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自動車の点検整備	エンジンの点検整備		
	2	自動車の点検整備	エンジンの点検整備		
	3	自動車の点検整備	シャシの点検整備		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	自動車の点検整備		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	195時間(前期102.6時間 後期92.4時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断 口述対策テキスト				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	エンジン電子制御装置高度整備技術	通信信号 CAN通信システム ECUの制御		
	2	エンジン点検、整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検、整備 システム上の全般的な注意事項		
	3	エンジン点検、整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検、整備 システム上の全般的な注意事項		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	故障原因探求(実習)		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	420時間(2年:後期108時間 3年:前期68.4時間、後期48.6時間 4年:前期102.6時間、後期92.4時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	実習車両				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	エンジン故障原因探求	エンジン電子制御システム		
	2	エンジン故障原因探求	エンジンセンサー 故障原因探求		
	3	エンジン故障原因探求	エンジンアクチュエータ 故障探求		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	故障原因探求(実習)		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	420時間(2年:後期108時間 3年:前期68.4時間、後期48.6時間 4年:前期102.6時間、後期92.4時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)				
使用教材	実習車両				
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	シャシ故障診断	シャシ電子制御システム		
	2	シャシ故障診断	シャシセンサー、アクチュエータ 故障原因探求		
	3	シャシ故障診断	振動、騒音 の修理 振動、騒音計を使用し故障原因を推定する		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合診断(実習)		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	195時間(前期102.6時間、後期92.4時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	総合診断 口述対策テキスト				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自動車の点検整備	エンジンの点検整備		
	2	自動車の点検整備	シャシの点検整備		
	3	故障原因探究	エンジンの故障原因探究		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合診断(実習)		指導担当者名	根本勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	195時間(前期102.6時間、後期92.4時間)			週時間数	34.2時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける				
評価方法 評価基準	期末試験を実施 授業への取組み姿勢 各種テスト レポートも考慮する				
使用教材	総合診断 口述対策テキスト				
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み予習する				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	故障原因探究	トランスミッションの故障原因探究		
	2	故障原因探究	ABSの故障原因探究		
	3	故障原因探究	EPSの故障原因探究		
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名		総合学習		指導担当者名 根本勝	
実務経験				実務経験:	
開講時期		通年		対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法		講義:	演習: ○	実習:	実技:
時間数		450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数 1.8時間
学習到達目標		高度な知識と技術に裏づけされた診断能力 アドバイス能力を身に付ける			
評価方法 評価基準		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材		総合診断 口述対策テキスト			
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し		
	2	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務 受付～問診～診断～整備計画～引き渡し		
	3	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	4	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	5	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	6	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)		
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)					
科目名	総合学習		指導担当者名	根本勝	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	450時間 (1年:前期48.6時間、後期41.4時間 2年:前期32.4時間、後期21.6時間 3年:前期93.6時間、後期50.4時間 4年:前期88.2時間、後期73.8時間)			週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す				
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	1級自動車整備士過去問、エンジン電子制御、シャシ電子制御、自動車新技術、環境保全、法令				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容、準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習		
	2	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習		
	3	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習		
	4	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習		
	5	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない					